

唯物論

7 1977, 3

唯物論編集委員会編

特集 歴史と人間

真下信一＝断想・歴史と人間

江口朴郎＝権力政治からの人間の解放

永原慶二＝歴史認識・叙述における人間の問題

吉崎祥二＝『資本論』における「物象化」概念

向井俊彦＝歴史の必然性と主体

● 批判と討論

菅野礼司＝力学における矛盾概念について

● 現代観念論批判

秋間実・荒川泓＝時間論における最近の動向について(上)

汐文社

＊絶賛発売中！

科学的真理への道をさし示した不滅の業績！

見田石介著作集

■第六回配本／第6巻

四六判上製函入各巻一八〇〇円

現代イデオロギー論

鰐坂真・有尾善繁解説 戦前の西田哲学・田辺哲学から、今日の宇野「理論」に至るまで、見田氏は、ブルジョア・イデオロギーとの真摯な対決を通して唯物論の立場を深め、自己を形成してきた。本巻は、その旺盛で多彩な活動の軌跡である

危機の時代における全体的人間像の積極的展開！

マルクス主義の人間概念

ムイスリフチェンコ著 岩崎允胤訳 科学技術と人間の未来
自然と人間の共存、社会進歩と自由、道徳と退廃など、現代的危機がなげかける問題をふまえて、内的自由と創造性の新たな把握にたつ積極的人間概念を提起した労作。一四〇〇円

●既刊5冊 好評発売中！

1 ヘーゲル論理学と社会科学

秋間実・鈴木茂解説

2 科学論と弁証法

鰐坂真・鈴木茂解説

3 資本論の方法 I

上野俊樹・島津秀典解説

4 資本論の方法 II

大谷植之介・平野喜一郎解説

5 マルクス主義経済学の研究

梅川勉・小谷義次・尾寺義弘解説

＊補巻／4月発売

読者の皆様のご要望にゆえ、見田氏の戦前の労作「ヘーゲル哲学への道」芸術論を補巻として刊行します。ご期待下さい

科学的認識の理論

岩崎允胤、宮原将平著……………四五〇〇円

総合科学を展望した認識論の体系的な研究

理性とヒューマニズム

真下信一著……………国民文庫 三〇〇円
現代的危機をふまえた生き方と学び方！

大月書店

東京文京本郷2 11-9
振替口座東京3 16387
電話03(813)4651(代表)

惠
存

唯 物 論

第 7 号

『唯物論』編集委員会

高
田

純
学
兄

岩
佐

茂



汐 文 社